

賀茂しようぶ園 [中級コース]

・かもしあうぶえん
賀茂町字鎌田



コースデータ
総距離・約5.9km
所要時間・約1時間25分
(早歩き 約1時間)

賀茂しようぶ園
茂じょうぶ園は、東三河では有数の花しょうぶが咲き乱れるところです。その種類は約300種3万7000株にもおよび、花の咲く6月には花しょうぶまつりが開催され多くの観光客でにぎわいます。近くにはカタクリ山があり、3月下旬～4月にかけて、カタクリ（ユリ科の多年草）で可憐な花を咲かせます（）の花が満開となるなど自然豊かなところです。

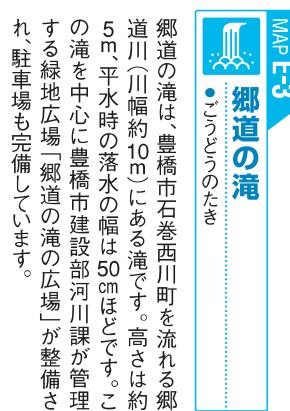
交通案内
り車で約10分
豊川駅より車で約20分
豊橋駅より車で約30分



賀茂しようぶ園は、豊橋市が観光開発事業として、昭和43年[1968]に賀茂神社境内南側参道入口の太鼓橋の両側の社地及び市有地6300m²を対象に整備を始め、昭和45年[1970]4月1日に開園しました。現在の敷地面積は9900m²植栽面積は3700m²です。東三河では有数の花しょうぶが咲き乱れるところでの江戸系・肥後系・伊勢系の約300種3万7000株が植えられています。花の咲く6月には花しょうぶまつりが開催され、多くの観光客でにぎわいます。



カタクリは、3月下旬に花を咲かせ、早く春の野草として人気があります。カタクリ山の横にある大福寺の境内には、1本で5色の花が咲くと言われる五色つばきが3月下旬から開花します。



郷道の滝は、豊橋市右巻西川町を流れる郷道川(川幅約10m)にある滝です。高さは約5m、平水時の落水の幅は50cmほどです。この滝を中心に豊橋市建設部河川課が管理する緑地広場「郷道の滝の広場」が整備され、駐車場も完備しています。

賀茂神社の境内にあります。この古墳は円墳で、壇丘の東側と南側が旧間川に削ぎ下がられて急な斜面となっていますが、ほぼ完全な形で残されています。市内では貴重な古墳です。規模は、直径28m・高さ3.5mで円墳としては県内有数の大さです。造られたのは、6世紀前後と考えら